

理事長挨拶

暑い夏の日々が続いておりますが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。
日頃よりご支援いただき、誠にありがとうございます。

不安定な為替によって多くの日本企業が厳しい経済状況に直面している中、例外なく切断穿孔業界も様々な課題に直面しています。5月に行われた当協会の総会・例会においては各地区理事による地域毎の動向が発表されました。総じて賃上げや人手不足という問題を各社抱えながらも、繁忙期において自社従業員や従前からの協力会社だけでは工事消化できない場合、同業他社と協力体制を取り合い、柔軟に対応しているという話が印象的でした。また、メーカー会員からは、従来品より操作性や生産性に優れた最新機材の発表がありました。これは現場で働く作業員への負担減とともに、時間外労働の削減にも少なからず寄与するものと思われます。

社会インフラの維持保全において、切断穿孔業は今や必要不可欠な存在です。当協会は安全技術と品質向上の追及をこれからも続け、会員各社がお客様からの信頼を得られるようサポートしてまいります。

また、建設就業者の高齢化が進行し、中長期的な担い手確保の必要に迫られていますが、次世代を担う若い人材に対して、切断穿孔業はやりがいがあり、魅力ある業界であるということは何らかの手段で発信していくことも今後の当協会の責務の一つと考えておりますので、引き続き、皆様の協力をお願いします。

一般社団法人 日本コンクリート切断穿孔業協会
理事長 小澤 純

目次

理事長挨拶 小澤理事長.....	1	ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート...	11~18
第33回定時総会・第72回東京例会報告	2~6	施工計画の手引掲載のお知らせ/事務局便り	19
同懇親会報告.....	7	JCSDA会員名簿	20
例会プレゼンコーナー.....	8~10		

JCSDA 第33回総会及び第72回例会

日時：令和6年5月22日(水)
場所：東京 アートホテル日暮里

◆総会及び例会 出席48社54名 司会進行 広報委員長 久保 達博氏（株式会社シブヤ）

総会

1. 開催宣言

15時00分 会則18条による総会成立の確認と、開催宣言が行われ、総会スタート。



司会進行 久保氏

2. 理事長挨拶 小澤理事長より開会挨拶

我々の仕事は地域によっても、季節によっても繁忙期と閑散期があり、日本全国どこでも一緒ということはないが、特に人手不足ということは共通の課題としてあげられている。特に建設業界は、きつい、汚い、危険で賃金も突出して高いわけでもなく、若いこれからの担い手が少ないというのが現実だと思う。そんな業界の「きつい」「汚い」「危険」の3Kを、「給与が高く」「休日が取れて」「希望が持てる」、こういったイメージに変えていかなければならないという話をこの間、聞いて非常になるほどなと思った。特に切断穿孔業界においては我々がこの業界を変えていくという強い決意を持っていかなければなかなか変わらない。我々は一次下請け、二次下請けで施工業者をやっていることが多く、働き方改革などといったことは自分たちでコントロールできず、やり方も非常に難しいところがある。北は北海道から南は九州まで、今日いるメンバーで普段聞けないような話も情報交換してこの日を有意義な時間としていただければと思う。最後にこの協会が出来て丁度32年、まだまだ40年、50年と続くためには、先ほども申し上げた通り、これからの若い人たちを育て上げていくという使命を我々ももっていかなければならない。我々ここにいるメンバーはライバルであり仲間であるので業界を良くしようという思いは一緒だと思う。同じ方向を向いていこうという事をお願いして、私の挨拶とさせていただきます。

3. 議案報告（議長 1～7号議案 小澤純理事長）

第1号議案 令和5年度事業報告に関する件

第2号議案 令和5年度収支報告に関する件

第3号議案 令和5年度会計監査報告

宮崎監事〈株クライム〉より収支決算監査報告

第4号議案 役員改選に関する件

第5号議案 令和6年度事業計画（案）に関する件

第6号議案 令和6年度収支予算（案）に関する件

第7号議案 会則変更に関する件

以上、各議案報告後採決の結果全議案が可決された。

15時45分第33回定時総会は閉会となった。



挨拶 小澤理事長



監査報告 宮崎監事

例会

総会に引き続き、第72回例会が執り行われた

1. 地区代表会員報告

① 北海道地区代表理事 株式会社エジマ 太田俊生氏

現在の北海道の話題では、鈴木北海道知事も歓迎している千歳市に建設された半導体ラピダスの工場について、大量の工業用水の策が講じられている。千歳市をはじめ、周りの市町村自治体が、雇用及び周りに集まってくる人の生活環境整備について知恵を絞っている状態である。それと同時に、投資家がマンション建設・ホテルの建設・商用施設建設に拍車がかかっており、北海道ニセコに次ぐ北海道バブルが有りそうだ。ただし、北海道内でも各地方から、仕事で若い人達が千歳に向くと想定しており、人口減に拍車がかかり、過疎化が進む懸念もある。地方での人材雇用もますます厳しくなり、ダイヤモンド工事業に来てくれるチャンスも減少するのではと悩ましい所はあるが、北海道自体とすれば、活性化され良い方向ではないかと思われる。先ほどのラピダス電力供給をめぐって北海道電力も動き出し、脱炭素の観点から泊原発の再稼働に向け、改修工事がそれに伴い、流通の起点になる、苫小牧港及び石狩新港・小樽港の老朽化で整備がなされており、千歳と石狩を結ぶ道央圏連絡自動車専用道路も数年でつながらる予定になっている。もう1つの話題では、北海道日本海側で洋上風力発電があらちちに計画されている。北海道はまだまだ空いている土地はあるが、洋上が多いようであり今後の動きに期待している。それに伴い、原発事故が起こった場合の緊急避難道路が本年度中にほぼ完成し、地元住人の避難訓練も実施しているようである。函館から札幌までの新幹線開通が2030年の予定だったが、難航現場が多く遅れそうだと4月に発表された。それと同時に、余市から倶知安まで進行中の自動車専用道が早々とニセ



北海道 太田理事

コマでの延伸が決定になった。これもまたニセコに集まってくる観光客で人の往来を見込んでのことで、ニセコバブルのおかげである。そんなこんなで、建設業では新幹線・原発・自動車専用道路・風力発電関連で小樽管内は工事関係者でにぎわっている。5月ゴールデンウィークを過ぎて、NEXCOのリニューアル工事が5月7日を皮切りに一斉に始まり、北海道の建設工事でもスタートを切った所だが、継続工事を中心で代り映えしてないのが、実情である。北海道の1次産業の予算がかなり金額が増えているが、担い手が少なく、肥料・飼料の高騰で離農するケースが多く、生産性を上げるための国営・道営での客土及び区画整理で集中的に仕事が出ている。それに付随して、用水路整備補修工事も出ているが、一時期間の整備になり、なかなか進んでいない現状が有り、請け負う業者も少なくなっている現状もある。漁業でも、取れる魚介類が変わってきてる昨今、お金になる魚が減り、原価割れするような魚が取れ出し、水産加工場にも影響が出ている。そのため、漁師さんに存続してもらうためと、担い手を育てるために、漁港の整備に力が入っているが、使われている港内では、一括での改築が難しいので、少しずつ進められている。逆に、小規模化での工事の方が、ダイヤを使った工事になりやすいので、少しチャンスではある。空港関連では、帯広空港の補修工事が今年で終了するが、今年は、道内空港の仕事は少ない傾向なので、来期に期待している。北海道でも去年の夏場の高温化で、学校を中心に官庁の施設等で、春先から一斉に、エアコンの取付工事で市町村建築設備業者が作業している。本来、北海道の学校の夏休みは短かくて冬休みは長いのだが、温暖化によって、夏休みが最大9日増え、冬休みがその分減る方向で進んでいる。工事関係者も5年ほど前から熱中症対策を打ち出しているが、今後、現場内対策も出てくるし、現場送り出しにも対策が必要になってくる。

② 東北地区代表理事 東北カッター株式会社 高橋辰佳氏

今年の冬は雪も少なく、一市民とすればすごく過ごしやすい冬ではあったが、冬場に除雪を主とする業者や雪がないと成り立たない仕事をされている方々にとってはかなり厳しい冬になったのではないと思う。雪が少ないこともあり、国道維持やNEXCO、冬時期はストップしていた前年からの継続仕事などは当初の予定より早めに動き始める現場が多く、3、4月は例年に比べては稼働状況が多かった。東北地区について、毎回言うことは同じになるがNEXCO東日本の東北管内では床版取替が早いところでは4月から始まっており、GW明け、それから規制の絡みで6月の中旬からスタートする箇所もある。ありがたいことに私たちもこれまで施工させていただいてきたが、他の工区との絡みや大人数での作業となるので事故やケガのないように努めていきたいと改めて思う。東北自動車道は延伸についての新規事業は完了していて、いま現在進められているのが開通に向けて進められている箇所や秋田道、常磐道、磐越道、仙台北部道路における4車線化事業となっている。SA、PAにおいてのスマートインターの新設事業も行われており、より利便性が向上している。NEXCO管内だけではなく国交省にて国道や1級河川にかかる橋の4車線化工事も継続的に進められている。岩手県においては盛岡市内で北上川と雫石川に架かる橋で2箇所進められており大規模事業となっている。以前の地区報告でも話をしたが、仙台駅前や市内の開発プロジェクトや再開発も徐々に進められており、仙台市役所の建替えでは昨年の10月頃からスタートし、いま現在建物の解体が進められている。先月から始まった時間外労働の上限規制は、5年前の2019年に働き方改革関連法が施行された。私も『働き方改革』というワードが出始めたころから自社の就業規則や賃金規定の見直しを考え始め、そして徐々に変えていき改善して準備はしてきたつもりであった。だが、いざ始めるとまだまだ改善が必要になると痛感している。



東北 高橋理事

③ 関東地区代表理事 浜田工業株式会社 濱田芳郎氏

神奈川県横浜市の話をさせていただく。2027年にGREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の開催が予定されており、横浜市が力を注いでいる。元々横浜市は大きいところの工事がでるとそこにばかりお金が集中する事が多い。とはいっても、一般の小さな仕事は出ている。リーマンショックが起きた2008年の時も横浜市の人口が370万人と多く、法人税と住民税が同額に近くあまり影響を受けなかったと聞いていた。昨年度の弊社の話になるが大小含め事故が多くあり、その改善の仕方を悩んでいる。また住民の知識が深くなり苦情やクレームが多くなった。ほかの会社の事例だが、狭い道で車を駐車し、助手席側の席の人が下車時に住民の敷地内に足を一歩踏み入れたのを防犯カメラで撮られていて指名停止になったようである。事故に関しては、起きてしまった場合は速やかに報告することを伝えている。そうはいつても仕事はまだまだあるので、仕事をとるには人手不足を解消しなければならないけど人手がいないというジレンマを抱えている。



関東 濱田理事

④ 東海地区代表理事 東海カッター興行株式会社 後藤諭氏

中部地方については、皆様の報告にもあったように、高速道路の大規模更新工事、リニア関連の工事、都市部の再開発などが順調に発注されている。高速道路の方は新しく造るということはいことはほとんど終わっているが、長野と静岡の北と愛知の東側の三遠南信自動車道多少の工事をしている。新名神や、東海北陸道も複数車線にするということで色々工事の方も盛んになっている。東海北陸道はトンネル工事ばかりなのでトンネルとトンネルをつなぎ合わせる場所に多少コアだったり、ワイヤーソーを行ったりしている。またリニアの方も、愛知県の方は着々と準備は整ってきて、少しずつ工事にとりかかっているところもある。途中の津川とか飯田とか諸々のところでもすこしずつ整備工事が地方公共団体から出ているのかなと感じている。また愛知県も広島県に次いでアジア競技大会を2026年に行うということで、大阪で万博を行うとお金一杯使って豪快だなと思っていたが、



東海 後藤理事

愛知県の場合は例えばプールが水泳に使えないとなると「それは東京で行いましょう」とか、選手村もお金がないと、「つくるのをやめて既存のホテルで対応しましょう」と、リサイズがしっかりと働いていてなかなか投資に繋がらない。ただ、そうは言っても名古屋市の真ん中等新しい競技場をつくっており、既存のものもリニューアル工事を行っている。また、名古屋市のほうは引き続き、都市再開発が駅前で進んでおり、かなり大規模なので業者さんが視察に来るのではないかと考えている。また、防災としての砂防ダムや堤防の工事なども発注されている。同業者の集まりについても少しずつ形になり始めていて、富山県は中部地方で一番早く同業者での集まりを行っていた。議論になっているのは、単価の付け方を統一しよう、というように具体的な中身について話し合っている。カッターの厚みがセンチ単位で精算していたところもあるが、同じブレードを使った場合は同じ単価にするなど、単価の付け方を統一するなど具体的な話し合いができていてよかった。名古屋でも今回広報委員会が座談会を10月にやることで、さらにコミュニケーションよく仕事ができるようになるといいと思っている。

⑤ 関西地区代表 株式会社日本コンクリートカッティング 濱田孝一氏

関西万博の開催が約320日後になり、開催期間は4月13日から10月13日の半年間だ。ただメディアの情報をしていると、今一つ盛り上がりには欠けた感じがし、来年開催という認知度も低い気がする。実際、先月就活で神奈川から来た学生に聞いたが、ピンと来ていない様子だった。またパビリオン建設遅れや追加費用の発生など、マイナスな報道も目立つ気がする。いろいろ問題があるのは仕方ないことかと思う。ただ、個人的には50年前の大阪はおろか、つくば、愛知など国際博覧会を一度も見に行っていないのと、こんな近くで行われる機会は二度とこないだろうから、一度は行くつもりでいる。万博協会の回し者ではないが、ぜひこれを機に多くの方に来阪いただき、会場近くのUSJをはじめ、和歌山白浜のパンダや兵庫の姫路城など、関西一円の観光を楽しんでいただけたらと思う。建設業については、高級ホテルの建設、大阪駅北ヤードなどあるが、関東に比べ大きい案件やプロジェクトが無いのが実状だ。北陸新幹線の新大阪延伸も具体的な工事発注などは聞かない。また新名神高速も開通遅れが発表されている。資材高や人手不足の影響かと思われる。切断穿孔業に関しては、これまで同様に道路関係がメインかと思う。中国道のリニューアル、阪神高速のリニューアルや新路線建設などが継続されて行われている。また次の区間や路線の工事も予定されてきており、今後も我々の仕事にも結びつくはずだ。鉄道関係は、大阪市中心部と関西空港を結ぶなにわ筋線と呼ばれる新線建設が比較的大きな案件である。また高架化工事では大阪府の北部の寝屋川付近で京阪本線が着手され、南部の堺では計画がある。こちらでも、今後は支障物や既存駅舎の撤去など、我々に関する工事発注が今後期待される。次に当社の携わりが強い製鉄業では、設備廃止や閉所、またはトラブルによる単発的な切断工事が多く発生している。単発の撤去工事なので、継続しないのが残念だが、昨年以降多くの案件を受注できた。その結果会社の経験値が増え、特に若手スタッフに多くの経験を積ませることが出来て非常に有意義な案件だった。外部や仕事の状況は、以上のような感じである。次に採用や社内環境について。まずは採用に関しては、当社は2015年から大卒新卒に向けた採用活動を行っているが、年々厳しい状況だ。2015年ごろは、初任給は一般的な会社と比べて悪くなく、高収入を希望する学生がそれなりに応募にきた。しかし現在は有名企業が軒並み初任給や基本給を引き上げたので、特別感がなくなった。また休日待遇については就活対策のために今年から年間休日数を120日にした。リクナビやマイナビに数万社とある会社から、まずは学生からの選考のふるいに残るためである。しかし、在宅などのリモートワークが出来る職種ではないので、なかなか学生の心をつかむことが出来ない。ただ採用すること自体は厳しい状況ではあるが、安易に内定を出すことは無い様にしている。現場作業なのでやっぱりデスクワークより大変だ、出張もそれなりにある、などのネガティブな情報もオープンにし、就活生には在籍社員とも面談対話をし、入社する学生、迎え入れる会社側、双方納得して入社してもらうことが一番大切だと心に決めて採用活動を行っている。最後に社内環境については、今年初めて工事部スタッフが育休を取得する。当社に20代が8人いるが、そのうち4人の家庭が出産予定である。当社はわずかだが少子化対策に貢献しているようだ。4人の取得希望時期があまり重複しなかったため、人員配置は何とか調整できそうなのであった。採用や雇用継続のため、当社も働き方改革に近いことを行っている。しかし最も大事なことは、社内全員で、この仕事に対する働き甲斐を共有することだと考えている。表に見える働き方だけではなく、この仕事自体を好きになり夢中になるくらい働ける魅力的な会社および業種にしたいと思う。



関西 濱田理事

⑥ 中国・四国地区代表 株式会社コンセック 野田隆氏

今期の中国・四国地区では例年通り中国自動車道床版取替工事がスタートし四国地区でも高速道路の耐震補強補修工事が始まる。昨年からの続いた島根原発の工事もやっと一段落し今期は水力発電所の改修工事が控えている。その他に広島市のダム改修工事もやっと動き出したが元請けからダム堤体の撤去ガラの撤出先が無いと嘆いている。広島地区は床版取替工事が幾つも出ておりキャパオーバーで受け入れが出来ない様で、解体業者を連れて撤去ガラの受け入れ先を紹介した次第である。その他大きな橋（広島市内と米子市内）の解体撤去もやっと動き出し当社の担当が忙しく走り回っている次第である。JR西日本の動きも活発で新幹線の高架橋コンクリート柱取替の耐震補強工事の試験施工や橋脚の耐震補強・既設駅構内での改修工事などが進んでいる。昼間・夜間連続作業が有り2024年問題で残業規制に抵触する事になりかねない。あとは製鉄所の製造ラインの設備の更新工事や転炉の定期改修工事など複数年に渡り工事の動きもあり、未知の鋼材ヘコア削削・切断が実際に施工可能かの試験施工を繰り返している。他にはコンサルからの問い合わせ等が次々に来ており、来年度の水力発電所設備更新やダムの改修工事等積算の数量割付や濁水脱水等の環境対策も併せて提案している。しかし一番の悩みは新しく入社してくれる人材がいけない状況だ。定年で退職者が増えてそれをカバー出来ずに縮小する事になりかねないため、現在は定年延長でしのいでいる。広島でも日本から補助金が5,000億円出ているマイクロンジャパンの新規工場半導体工場（US資本）が、熊本TSMC（台湾）と同じくらいの規模で動き出す。熊本と同様に24時



中国・四国 野田理事

間施工になった時は残業規制に間違いなく抵触すると思われ、施工単価をしっかりと上げて対応するしかない。

⑦ 九州・沖縄地区代表 株式会社ダイヤモンド機工 平田豪氏

先ずは電力について、数年続いている水力発電所発電機基礎撤去工事が熊本、大分、宮崎を中心に複数発注が有り今後も続く。NEXCO工事も床版取替、複線化、トンネル工事と具体的に動き出している。栈橋撤去は主に鹿児島、旧橋撤去は、各県で仕事が出ている。また、福岡市は天神地区、博多駅周辺の再開発で、地下鉄連絡通路等の都市土木が有る。北九州地区の工場もようやく設備投資が始まり、熊本の半導体工場もまだまだ新築、改修とも忙しい様だ。また、先月に九州の同業者の集まりが有った。この九州の同業者の集まりは、今年48年目で20社ほど集まったが、仕事については水道の深切りなどの工事も少なく、年度末発注は控えめだったという会社が多かった。ある会社は、「長い春休みが続いている」ということでせっかくなのでパワーゲート等の資格取得を行ったとのことだった。また、2024年度問題の話題にもなり、残業代に変わる賃金の保障や人材確保、また、材料の高騰等の理由から単価の見直し、値上げに踏み切る会社が増えた様に思った。鹿児島島の馬毛島の近況報告もあり、今、急ピッチで作業員宿舎、インフラ整備等、受け入れ準備を進めているようだ。輸送経路が、種子島経由での船による方法しか無く、天気の影響を多大に受けるので、輸送コスト、滞在コストが定まっていない。資材についてもようやく軽油の単価が決まったが、コンクリートや鉄筋等まだまだ未定で、元請が予算組み出来ない状態のようで、もう少し経過観察が必要な状況のようだ。弊社は、今年高卒の新入社員6名を迎えている。求人には毎年苦勞しているが、もっと苦勞しているのが、社員の定着である。昨年迎えた3名は、残念ながら今は2名になっている。しかし、今25歳以下の新卒の社員が20名ほど居るため、今年の新入社員6名には、年が近い先輩が14名居ることになる。この14名の先輩は、後輩の面倒見がよく、相談にも乗っているようなので、ここ数年、会社の様子が変わりつつ有り、大変うれしく思っている。



九州・沖縄 平田理事

2.委員会報告

① 企画委員会 田中委員長（第一ダイヤモンド工事株式会社）

昨年度は安全指針の掲載案件があり、1件変更の為に立ち合いが必要になった。本年度は今後の企画に向けて勉強会を行いたいと思う。在京の施工会員、メーカー会員5社にて勉強会を開催したい。進捗を本年度例会でご報告できたらと思う。今回はこのようなご意見をいただいたが、その他、意見があれば声をかけていただきたい。



企画 田中委員長

② 広報委員会 久保委員長（株式会社シブヤ）

広報ではニュースレターの定期発行64号を8月に、65号を来年2月に発行予定としている。64号では今年1月に開催されたワールドオブコンクリート研修ツアーの記事、今回の総会例会の記事を掲載する。また、65号では札幌例会の記事、10月に開催する東海地区の座談会の記事を掲載する。なお、これまで数年かけて行ってきた座談会企画はこの東海地区をもって一区切りとさせて頂いた。数年にわたりご参加、ご協力をいただいた各地区会員様、社員の方々には大変お世話になり、この場を借りて感謝申し上げます。また、広報については今後新たな企画を考えたいと思う。皆様からも様々な情報をいただければ、参考とさせて頂き協会にとって有益な場を提供出来たらと思っている。



広報 久保委員長

③ 調査委員会 砂川委員長（第一カッター興業株式会社）

昨年度の公表価格アンケートについて多数の会社様からご協力いただき誠にありがとうございました。アンケートの結果は4月に物価調査が担当会社にあり、6月位からその価格が反映されるのではないかと。調査委員会の本年度の計画としては引き続き、「施工計画の手引き」の改定を7月1日に公開できるように現在、改定作業を行っている。また、協会への問い合わせ対応も引き続き継続する。現在、「施工計画の手引き」改定作業を進めているが、4/25に発刊された「建設機械等損料表」令和6年度版ではほとんどの機械の基礎価格が上がっている。十数年「施工計画の手引き」に携わっているが、これだけ多くの機械の価格が上がるということは今までなかったと思う。基礎価格数十万単位で価格上昇して、維持・修理費も上がるような修正になっていた。現在、様々な材料費の高騰があり、各社様損料表の改定が価格改定の後押しになるのではないかとご報告させて頂いた。



調査 砂川委員長

④ 国際委員会 渋谷委員長（株式会社シブヤ）

1月に開催されたワールドオブコンクリート、IACDS総会へ参加した報告と、また2025年ワールドオブコンクリート視察の予定、バウマ視察ツアーの予定についてお話しさせて頂いた。今回1月21日から27日までアメリカ・ラスベガスにおいてワールドオブコンクリートに出席した。日程は21日成田空港集合して、サンフランシスコに到着。そのままラスベガスに移動した。22日自由行動。23日24日ワールドオブコンクリートを視察。25日ロサンゼルスに移動、ユニバーサルスタジオを視察し、さよならパーティを開催。26日ロサンゼルス経由



国際 渋谷委員長

で成田に移動。27日成田に到着し、解散した。来年の視察の予定について。来年は1月19日から25日行いたいと思う。バウマ視察ツアーはドイツのミュンヘンで世界最大の建設機械関連の展示会で、展示会自体は4月7日～13日迄開催される。ツアーを開催するかどうかの判断は理事会で決定する。この時にIACDSが主催で世界で優れた仕事・製品を表彰するダイヤモンドアワードが開催される。エントリーは12月31日まで。これに参加されるということは私たちの優れた実績・品質を紹介するだけでなく、会社を世界各国に紹介する素晴らしい方法だと思う。是非、素晴らしい施工・商品があったらエントリーしていただきたいと思う。是非アワードにエントリーしていただいて、ISCDSそしてJCSDAを盛り上げていただけるようご協力お願いしたい。

⑤ メーカー部会 安井メーカー部会長（株式会社ノリタケマシンテクノ）

配布した集計表は残念ながらダイヤモンド工業会に入っていないメーカーさん等、中に含まれておりませんが2003年からデーターがとられていて各メーカーから報告された推計数字が表れているダイヤモンドメーカーの販売額を表した数字についてはご覧いただいてわかるように2003年から2023年まで20年間かけてダイヤモンド工具の販売数が減少している。例えばブレードは約48%減少。ビットに関しては54%減少。ダイヤモンドワイヤーは半導体でも一部使用されているなどなかなか参考にならないがこちらも約7割減少している。ホームセンターのDIYで使用されるハンド工具も含めると、全体でこの20年間で6割減少している。こういったことからダイヤモンドメーカー非常に苦戦しているということがおわかりいただけると思うしこの状況に加えてダイヤモンド工具に使用するレアメタルあるいはブレード基盤ビットの金属材料も高騰している状況が続いている。また、こういった金属材料は機械、装置を提供されるメーカーさんも同様であり、特にこういった機械の小さな部品等はほとんどが中小企業からご提供いただいている関係上、賃金の向上等全体の大きな課題も含まれている状態で、値上げを受け入れざるを得ない状況であるため、ご相談がされましたらご支援の程お願い致します。一方、世の中の状況変化を迫りますと、1月に能登半島で大きな地震が発生した。この結果を反映して国土交通省が中心となって進める水道の地震対策案を議論する国の検討会が立ち上がっている様子でこの5月に中間案がまとめられたようである。その中では上下水道の耐震化の重要性が改めて見直されて、まずは国の施設を最優先に上下水道の耐震化を、それに続き日常生活に必要な水道インフラの耐震化の重要性が盛り込まれて2025年以降計画的に反映されるようである。この間に大きな災害が無いことを願いつつ予防のための工事が望ましい状態で進むことによって業界全体が活気付く事を願いつつメーカー部会からの報告とさせていただきます。



メーカー 安井部会長

3. 技術情報 プレゼンコーナー

① [コンクリートカッター用トリップメーター]

株式会社クライム 宮崎雄太氏（関連記事P8掲載）

② [PINA20V2024]

仲山鉄工株式会社 仲山浩太郎氏（関連記事P9掲載）

③ [自動送装置EHAC-110A]

株式会社コンセック 国司直克氏（関連記事P10掲載）



プレゼン風景



事務局 落合事務局員

4. 事務局報告 落合事務局員

会員移動：施工部会（34社）（休会）1社・メーカー部会（13社） 移動なし、友の会 入会1社 株式会社フィールドダイヤ 退会1社 コンビエンス株式会社（計45社）
協会事務局への照会事項（令和4年10月1日～令和5年3月31日） 計49件（詳細 総会資料添）

5. 閉会の辞 渋谷副理事長（株式会社シブヤ）

総会では慎重審議いただきまして誠に有難うございました。例会では各地区担当の皆様への報告ありがとうございます。特に私が感心しましたのは、いろんな問題があるのですが特に人手不足そして人の採用が重要でなおかつ、その人々を残していくことが大切だと感じました。もっとも会社、そして我々業界が魅力のあるものになり若い人たちが是非この業界皆様の会社で働きたいと思うような業界になるべきだと思います。一つ提案ですが、JCSDAのホームページとかIACDSのホームページをどういう形で使うか、そういったものをどんどんご利用になられてこの業界の広さを若い人々にお伝えをされればもっと魅力のあるものになると感じました。最後に技術情報ありがとうございます。各メーカーの製品開発は業界の技術発展のために必ず必要なものだと思います。私もメーカーの一員ですが、メーカーの皆さん揃って切磋琢磨しこの業界がもっと魅力のあるものに、そして作業効率が良くなるように努力をしていきたいと感じました。この後も懇親会がございますので、是非とも皆さん活発な意見交換をしていただき、この業界どうやったらもっと良くなるかという話をしていただけたいと思います。



閉会挨拶 渋谷副理事長

以上、17時40分プログラムを全て終了し、盛況の中例会は閉幕した。

懇親会

第33回定時総会、第72回東京例会に引き続き18時より、同宴会場 朱鷺の間にて、懇親会が執り行われた。高橋正光副理事長（第一カッター興業株）の開会挨拶、続いて来賓の下村俊夫ダイヤモンド工事業協同組合理事長による挨拶の後、阿部広理事（第一ダイヤモンド工事株）乾杯の発声で懇親会がスタート。参加の皆様は大いに盛り上がり、和やかに懇親を深められた。盛況の中20時30分、濱田芳郎理事（浜田工業株）の中締めでお開きとなり、散会となった。



懇親会開会 高橋副理事長



来賓DCA 下村理事長



乾杯 阿部理事



後 左から 佐藤(英)氏 榎本氏 柳氏 高柳氏
濱田氏 五嶋氏
前 左から 下村氏 小澤氏



後 左から 齊川氏 高橋(正)氏 西尾氏 土堂氏
藤尾氏
前 左から 濱田氏 安井氏 佐藤(渉)氏



左から 犬飼氏 加藤氏 山根氏 高橋(辰)氏
古木氏 阿部氏 箱田氏



後 左から 加瀬氏 須藤氏 荻原氏 酒井氏
前 左から 久保氏 平田(健)氏 高梨氏



後 左から 津田氏 国司氏 仲山氏 砂川氏
小野寺氏
前 左から 長崎氏 野田氏



後 左から 渋谷氏 宮崎(文)氏 宮崎(雄)氏
前 左から 岸氏 大木氏 幸田氏 濱田氏
河口氏



左から 河崎氏 安藤氏 後藤氏 和田氏
太田氏 増田氏 渡辺氏



後 左から 相羽氏 平田(豪)氏 落合(則)氏
落合(え)氏
前 左から 田中氏 清水氏



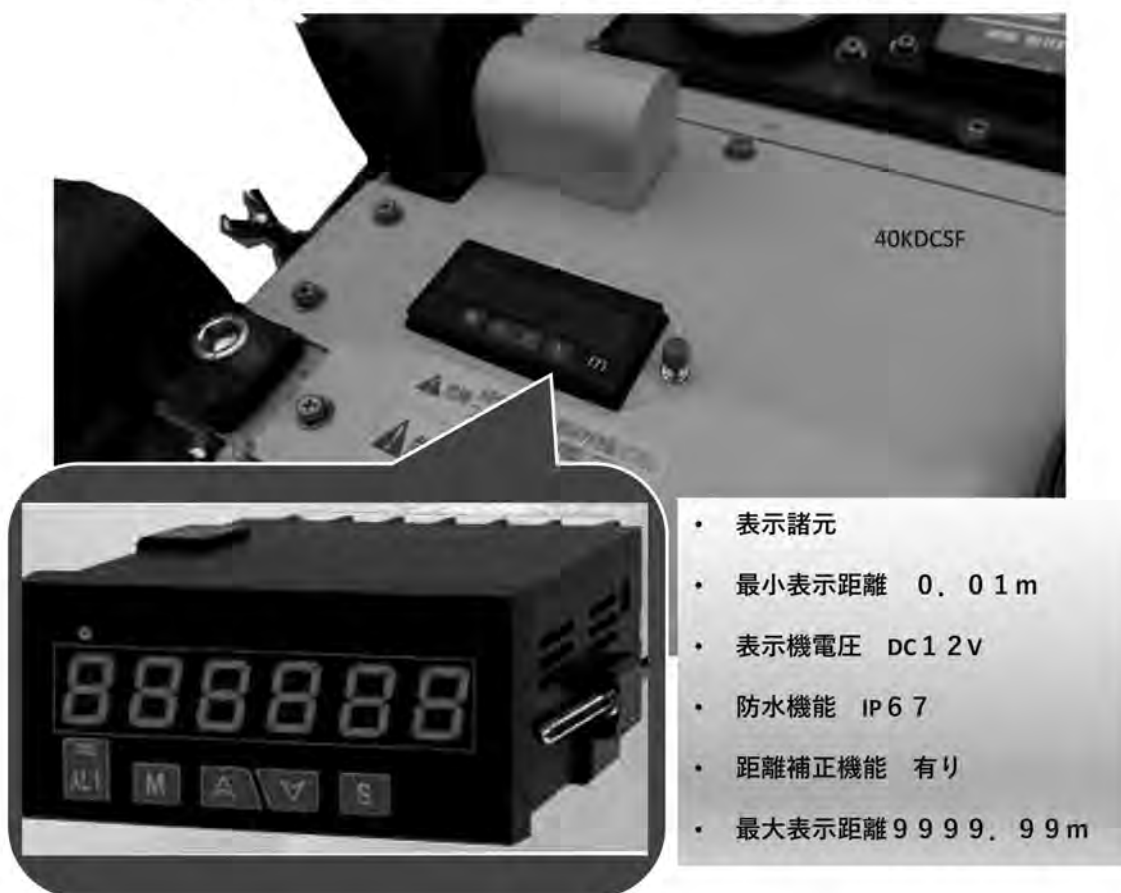
中締め挨拶 濱田理事

◀ クライム

新商品ニュース！

コンクリートカッター用 トリップメーター新発売！

株式会社 クライム



- 従来、500m切断した距離を測定するには、切断時歩行とは別に、往復1000mの距離をステッキメジャー等で距離を測定しながら、歩く必要がありました。
- 新商品、トリップメーターでは、切断と同時に切断距離測定が可能なので、切断とは別に歩いて切断距離を測定していた時間が大幅に短縮出来き、トータル時間、労力も大幅に削減出来るので、特に猛暑、厳冬対策にも大きな活躍が期待できます。
- エンジンを切っても、表示された数値はリセットされず記憶しておりますので、休憩等でエンジンを切っても続きから測定します。

湿式コンクリートカッター PINA20V2024

・小型・軽量ボディはそのままに、エンジン出力アップ



搭載エンジン	HONDA iGX800 779cc
本体サイズ	1280L×732W×1125H (mm)
本体重量	361kg
最大切断深さ	200mm
最大出力	18.6kw (25.2ps) /3600min ⁻¹
連続定格出力	16.6kw (22.5ps) /3000min ⁻¹
走行	HSTレバー調整 前進：切断0～1.2km/h 廻送：0～4km/h 後進：切断0～0.5km/h 廻送：0～1.5km/h
バキュームユニット	吸気量：2.0m ³ /min 排水ポンプ吐出量：8L/min
燃料タンク	12Liter

■使い易さと安全性を向上させる新装備■

・回転コントロール ボリューム仕様

エンジン回転を簡単に調整可能



・デフロック (OPTION)

滑りやすい路面でも駆動力を伝えスリップ抑制



・LEDライト



・操作パネル&非常停止



・フューエル満量ゲージ



〒426-0055
静岡県藤枝市大西町3丁目14番地の1
TEL : 054-635-1383
FAX : 054-635-0418

仲山鉄工株式会社

新製品ニュース

Vol.2404 04

自動送り装置

EHAC-110A
EHAC-110A (1.6倍速)
EHAC-110A Pro
EHAC-110S
EHAC-110S Pro

◆特長

- ◎ クランプの両サイドどちら側へも取付け可能なS仕様が新登場。
 S仕様のクランプにワンタッチピンで簡単に取付けできます。
 S仕様のクランプ取付け位置による送り方向の切替えもボタン一つで変更できます。
 ※既存のクランプをS仕様にするには、穴加工と部品の交換が必要となります。
 ※他社スライドブロックと互換性はありません。
- ◎ Pro (230V) 仕様や1.6倍速仕様もラインアップ。多様なニーズに応えます。
- ◎ 新機能「切込みアシスト」搭載。
 ドリルモータ始動時のモータ回転速度を低速にすることで切込み作業が容易にできます。
- ◎ 広範囲な負荷設定。
 標準 (100-120V) 仕様は設定範囲が5~21Aで1A刻みの17段階。
 Pro仕様は設定範囲が5~16Aで0.5A刻みの23段階と扱いやすくなりました。
- ◎ 送り速度の向上。
 EHAC-80Aと同等の推力で送り速度は大幅に速くなりました。
 また、遊星歯車を組換えることでEHAC-130A相当の推力に変更可能です。
 (但し、EHAC-110Aに対し送り速度が20%ダウンします。)
- ◎ バックライトの採用で視認性向上。
 操作パネルが点灯しているので、室内等の明かりの少ない現場でも見やすくなっています。
- ◎ ベントフィルターによる制御ケース内の結露防止対策。

EHAC-80Aが
 モデルチェンジしました!!
 (EHAC-130Aの
 後継機に変わります。)



操作パネル (バックライト常時点灯)

ワールドオブコンクリート研修ツアーレポート

(寄稿いただいた原稿を広報委員会で編集させていただきました。)

日 程：令和6年1月21日～1月27日

研修先：米国ラスベガス ワールドオブコンクリート

参加者（順不同 敬称略）

第一カッター興業株式会社	砂川 高寛	第一ダイヤモンド工事株式会社	早川 雅人
第一カッター興業株式会社	石井 祥司	第一ダイヤモンド工事株式会社	小松 一夢
第一カッター興業株式会社	田中 正人	第一ダイヤモンド工事株式会社	小柳 誠
株式会社ウォールカッティング工業	橋本 明浩	第一ダイヤモンド工事株式会社	平山 貴一
株式会社ウォールカッティング工業	八木 克真	コンクリートコーリング株式会社	大田裕次郎
コンクリートコーリング株式会社大坂	玉出 真也	コンクリートコーリング株式会社	関本 直也
コンクリートコーリング株式会社大坂	藤田 勝也	東海カッター興業株式会社	後藤 諭
第一建興江島株式会社	高荷三千雄	株式会社シブヤ	渋谷 憲和
第一建興江島株式会社	菊池さより	株式会社シブヤ	渋谷 彰範
第一建興江島株式会社	瀬戸 彩奈		



ワールドオブコンクリート展示会場

初日：移動日（成田空港→サンフランシスコ→ラスベガス）

8時間以上のフライトでしたが機内であまり眠れず睡眠不足のまま日付も戻って日曜日の朝にサンフランシスコに到着です。バスで市内観光。初のアメリカでどんな感じが楽しみでしたが、走っている車もほとんど日本車ばかりだからか、それほどアメリカを感じませんでした。夜、ラスベガスへ到着し、ホテルに向かうと今度はアメリカ感満載でした。

テレビなどではラスベガスの映像は見たことありますが、実際に来てみるとネオンの迫力が凄かったです。電気代いくらかかるのだろうと思ってしまいました。ホテルのロビーで明日からの予定を確認し、解散となりました。その日は寝不足もありあっという間に寝ていたようです。（平山）

サンフランシスコの生活や街並み、ガイドの方の話を聞きながらバスを走らせ何箇所か観光スポットに行き、お昼ご飯はみんなでアメリカならではのステーキを食べました。ステーキを半分までは美味しく食べましたが、食が細い自分は半分が限界でした。半分は同じ会社の人に食べてもらいました。（早川）

観光先へ向かう道中住宅街を通過しますが、住宅がかなり密集して建てられており一応僅かな隙間があるようですがバスの中からみると隙間があるとは思えない程でした。サンフランシスコはかなりの高級住宅街の様で一軒家を購入するとなると2億円超えは当たり前という現状に驚きました。（高荷・菊池・瀬戸）



ツインピークの丘
☆サンフランシスコの街並み



ゴールデンゲートブリッジ
☆世界最長の吊り橋



John's Grill
☆ビックスターキ



ビックラス
☆Bigサイズ



フィッシャーマンズワーフ
☆レストラン・カフェ・ショッピング



アルカトラズ島
☆1963年まで連邦刑務所

2日目以降：観光（展示会視察を除く） USH観光（参加者全員）

日本と違って、ライドもほぼ並ばず、スムーズに乗ることができました。ガイドの方がおっしゃられた「スタジオツアー」は本物のセットの中を進み、とても感動しました。（後藤）

平日で空いていたこともあって、沢山のアトラクションに並ぶことができました。（小柳）

ユニバーサルスタジオ観光では(株)シブヤの渋谷会長・渋谷専務、東海カッターの後藤社長、コンクリートコーリング東京の関本さん・太田さんのオジサン6人で童心に返りスタジオツアーを始めマリオブラザーズ・ジュラシックパーク・ハリーポッター等のライド系を待ち時間ほぼ無しで立て続けに乗りまわし満喫、最後は少し乗り物酔いしてました。（藤田）

ラスベガス空港から約2時間でユニバーサル・スタジオ・ハリウッドに到着。ニンテンドー・ワールド、ハリーポッター、スタジオツアー、ジュラシックワールド等アトラクションにて、水を浴び、絶叫マシンでは久しぶりに悶絶しました。（関本）

ユニバーサルスタジオにウォーキングデッドのアトラクションがあることに衝撃を受けました。廃墟風の建物で歩いているとリアルなゾンビに出会い驚きました。ドラマが好きな人にお勧めだと思いました。（八木）



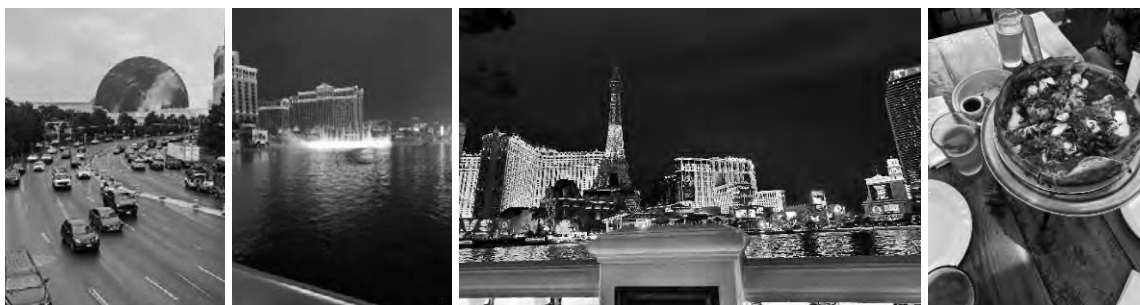
ユニバーサル・スタジオ・ハリウッド



隣接のモールにて、LAドジャースのショップを発見

その他

各所観光では、サンフランシスコ、ラスベガスの街を回り、本場のステーキやハンバーガー、ピザ、ビールと楽しい食事を満喫しました。(大田)



グランドキャニオン。圧巻の景色でした。映像、写真は見ることもありましたが、これは絶対に生で見るべきです。(平山)



自由行動では2023年9月にオープンしたばかりの巨大な球体型アリーナのスフィアを観光しましたが、先程も言った通り街全体が明るい雰囲気の中でもかなり目立った建物で、近くでみると更に迫力がありましたし、建物内もかなりこだわった作りになっていて大変感動しました。スフィアに続く楽しみ、シルク・ドゥ・ソレイユによるエンターテインメント・ショー『ビートルズラブ』を鑑賞しました。ビートルズの楽曲に浸りながら、数々のシーンが変わり、大変感動しました。(高荷・菊池・瀬戸)



スフィア
☆どこから見ても際立っています



シルク・ドゥ・ソレイユ
☆『BEATLES LOVE』鑑賞

3日目：ワールドオブコンクリート

今年で50周年の節目を迎えたWOCに来場、3日間で6万人が参加したそうです。広大なスペースに屋外会場1つ、屋内会場3つの合計4会場で開催されていました。当社や協力会社でも、購入実績のあるメーカー・商材が多数出展しており、ブースには、油圧マシン、高出力の高周波マシンやダイヤモンド工具も多数ありました。(関本)



会場規模の大きさ・人の多さ・機械の大きさどれを取ってもワールドクラスのものでした。興味があっても言葉が通じないので機械を見て回るだけになってしまい、積極的にコミュニケーションを取る事が出来なかったことが残念でなりませんでした。(藤田)

見たこともないようなコアマシン、ウォールソー、カッター、ワイヤーソーのマシンがたくさんあり興奮しました。(小松)

WOC見学では、普段自分達で使っているビット、ブレードとは違った物があり興味が湧きました。切断スピード、ライフも気になりました。コア、ワイヤーソー、ウォールソー等のモーター類、コントローラー等は弊社協力会社の方も使用している物、見た事が有る物が多くあり、新たなメーカーを探すよりマイナーチェンジに注視しようと思いました。(大田)

屋外展示場を見て回ると実際に体験できるブースにたどり着きました。マキタとヒルティのブースで、充電式のブレーカーと充電式のピックが体験出来るようでした。自分は英語が流暢に話せなかったなので、実際に体験することができず少し離れたところから見ていたのですが、充電式なのにパワーがあるなと感じました。(小松)



設備、機械、材料の他、トラックの展示ブースもあり、壮大なスケールに驚かされました。ただ、全般的に大味な感じ、展示品が、日本のきめ細やかなサービス、品質にあうのかは、疑問も感じました。(田中)

我々に関係するブースの中でも初めて見る機械や道具もあり、あれもこれも見ているとあっという間に時間が経っていました。全体的にデザインが派手であると思いました(小柳)

イベント会場が屋外を含めて4か所もあり、2日あっても回り切れない広さでした。道路カッターの両サイドにブレードを付け替える機械があり、日本でも導入してほしいと思いましたが、排水回収機能がありませんでしたので、日本で使用するときは取付が必要だと思いました。(橋本)



当社で施工に使用している機械（カッター・コア・ウォールソー・ワイヤーソー他）の種類の多さ、ブレードやコアビットのメーカーの多さにかなり勉強になりました。BOSCH・HILTIが広く展示されて屋外展示場でのデモンストレーションも多かったですが日本のマキタも負けじと展示してました。またSHIBUYAブースを見つけてホッとしました。正方形のコアビットがあり、真四角に抜けるわけじゃないですよ〜とジョークを聞き大笑い。(高荷・菊池・瀬戸)

再生素材の活用やCo2削減など環境への配慮に力を入れている企業が多くあり、世界規模で地球を保全しようという意思を強く感じることができました。(八木)

世界最大のコンクリート見本市と言われるだけあって、展示会の規模感に驚きました。屋内・屋外双方で切断・穿孔機の展示はありましたが、やはり屋外での実演を伴う展示は見応えがありました。噂通りではありましたが、床研磨関連の機器展示が多かったです。海外では床研磨の市場・需要が相変わらず高いのだと実感しました。(砂川)

流石アメリカ規模が違うということと実際にコンクリートを削ったり壊したりと施工を見られたことも日本での展示会等の参考にもなったと思います。(石井)

ワイヤーも数少なかったですが展示しておりました。韓国のメーカーでしたが鉄用はそもそもの形状が違い、ドライワイヤーはビーズの形状が、流線形になっていました。(平山)



研修を終えて

ワールドオブコンクリートでは普段目にしているコア・ワイヤーソー・ウォールソー、道路カッターもこういった雰囲気の中で見ると新鮮に映り、違った角度から機械を見る事も出来、新たな発見もありました。機械・道具は日々進化しているので、その機械を扱う側のオペレーターもレベルアップしていく必要があると感じました。今後の自身の仕事にもこの経験を活かし活躍の場を広げていきたいと思います。日本ではなかなか出来ない貴重な体験を積ませて頂き有難うございました。(藤田)

海外研修という、人生で一回あるかないかの経験が出来て本当に良かったです。機会をくださった会社や招待してくれた人にとっても感謝しています。(小松)

現地で働いている従業員がヘルメットをかぶっておらず、半袖半ズボンで作業をしていたのが驚きました。(橋本)

今回このワールドオブコンクリートアメリカ研修は、大げさと思われるかもしれませんが、私の人生にとってとても良い経験になり一生忘れることのない思い出になると思います。この研修に関わって下さった方々、一緒にアメリカに行った方々、本当にありがとうございました。(早川)

今回研修ツアーに参加させていただき普段はあまり話さない、初めて会う方等、各社協会員との交流を持てたことに感謝するとともに本当にいい経験や体験ができたなと思っています。日本だけではなく世界へ目を向ける事でまた違った思考を持てたと思います。ありがとうございました。(石井)

エンターティメントにかける創意工夫は、日本人にはない発想があると感じました。また、参加者の皆様とも、研修を通じて親睦を深める事ができたのも大きな収穫となりました。最後に、研修幹事をされた(株)シブヤの渋谷国際委員長に深くお礼申し上げます。(砂川)

* 寄稿者の皆様、この度はお忙しい中での執筆ありがとうございました。 広報委員会

【施工計画の手引】掲載のお知らせ

フラットソーイング工法	(第25版)
コアドリリング工法	(第25版)
ウォールソーイング工法	(第25版)
ワイヤーソーイング工法	(第17版)
乾式コアドリリング工法	(第10版)
乾式ウォールソーイング工法	(第10版)
乾式ワイヤーソーイング工法	(第10版)

令和6年7月1日に内容を更新改訂致しました。

当協会ホームページに掲載しておりますので、皆様、是非ご活用下さい。

内容に関するご質問お問い合わせ等は、協会事務局にご連絡下さい。

調査委員会 委員長 砂川 高寛

JCSDA 事務局便り

◆会員移動

- 1) 施工会員 : 34社 入会: なし 退会: なし 休会: 1社
2) メーカー会員: 13社 入会: なし 退会: なし
3) 友の会会員 : 43社 入会: (株)フルードダイヤ 退会: コンビエンス(株)・(株)豊成工業

◆会員募集: 詳しくは事務局までご連絡下さい。入会申込書をお送りします。

	正会員			友の会会員
	施工会員年商2億円以上	施工会員年商2億円未満	メーカー会員	
入会金	10万円	10万円	10万円	なし
年会費	20万円	15万円	20万円	2万円

◆会員情報

代表者変更 (有)栄進カッター工業 代表取締役 若林優子
社名変更 なし

*お願い: 会員各社様の各種情報(代表者・所在地・TEL/FAX番号等)変更の場合には、その都度必ず当事務局宛ご一報を下されます様、お願い致します。

◆例会開催予定

第74回例会 札幌プリンスホテル(北海道)にて令和6年10月9日(水)開催予定。
詳細は事務局よりご案内させていただきます。

◆事務局より

毎週月曜から金曜(9時30分～16時30分 土日祝休み) 落合事務局員が常勤しております。
何かございましたらご連絡をお願い致します。



施工会員 34 社 (北より地域順)

会社名		所在地	電話番号	FAX番号
(株)エジマ	〒078-2600	北海道雨竜郡雨竜町字満寿36-9	0125-79-2011	0125-79-2012
(有)栄進カッター工業	〒003-0869	北海道札幌市白石区川下2065-2	011-873-6908	011-873-6909
第一建興江島(株)	〒065-0023	北海道札幌市東区北二十三条東18-2-3 2F	011-751-0410	011-771-6361
東北カッター(株)	〒038-0021	青森県青森市大字安田字若松60	017-766-9230	017-766-9244
井上工業(株)	〒991-0066	山形県寒河江市松川120	0237-83-4050	0237-83-4051
(株)バステムサービス	〒342-0036	埼玉県吉川市高富大場川1059	048-983-8560	048-983-8570
コンクリートコーリング(株)(東京)	〒177-0054	東京都練馬区立野町16-12	03-3928-3023	03-3929-8997
小笠原興業(株)	〒177-0044	東京都練馬区上石神井1-41-2	03-3928-1514	03-3928-1508
第一ダイヤモンド工事(株)	〒157-0067	東京都世田谷区喜多見3-14-27	03-3417-1911	03-3417-3777
(株)ダイイチ	〒157-0067	東京都世田谷区喜多見5-1-7	03-3416-0411	03-3416-0412
(株)シンワダイヤ	〒116-0014	東京都荒川区東日暮里1-27-10	03-5850-6200	03-5850-6201
(株)丸辰道路工業	〒224-0043	神奈川県横浜市都筑区折本町338	045-476-4012	045-476-4013
浜田工業(株)	〒226-0026	神奈川県横浜市緑区長津田町4805	045-921-6500	045-921-2420
第一カッター興業(株)	〒253-0071	神奈川県茅ヶ崎市萩園833	0467-85-3939	0467-88-0567
中央総業(株)	〒252-0303	神奈川県相模原市南区相模大野3-20-1 4F	042-765-5500	042-765-2822
(株)D-1	〒940-1104	新潟県長岡市摂田屋町2701-13	0258-89-7685	0258-89-7686
東海カッター興業(株)	〒462-0017	愛知県名古屋市中北区落合町135	052-901-4811	052-901-4812
江島産業(株)	〒457-0003	愛知県名古屋市中南区鶴田1-5-13	052-821-9305	052-821-9339
コンクリートコーリング(株)(大阪)	〒534-0001	大阪府大阪市都島区毛馬町5-15-28	06-6924-4517	06-6928-1263
(株)ティ・ビー・シー・ダイヤモンド	〒587-0011	大阪府堺市美原区丹上321-2	072-363-4145	072-363-4146
(株)日本コンクリートカッティング	〒578-0921	大阪府東大阪市水走5-5-50	072-960-5910	072-960-5911
(株)丸辰道路工業(大阪)	〒581-0054	大阪府八尾市南亀井町2-4-51	072-923-7579	072-923-2499
北辰工業(株)	〒570-0032	大阪府守口市菊水通4-12-15	06-6997-2426	06-6997-2429
(株)佐藤工業	〒653-0805	兵庫県神戸市長田区片山町5-11-24	078-612-0413	078-612-0421
(株)中国カッター鳥取	〒680-0905	鳥取県鳥取市賀露町129-2	0857-28-9808	0857-28-9815
(株)コンセック	〒733-0833	広島県広島市西区商工センター4-6-8	082-277-5452	082-278-6389
瀬戸内カッター工業(株)	〒799-1533	愛媛県今治市国分2-9-37	0898-47-4100	0898-47-3040
(株)リュウキ	〒807-0852	福岡県北九州市八幡西区永犬丸西町4-20-28	093-601-6777	093-601-6888
九州ダイヤモンド工事(株)	〒814-0174	福岡県福岡市早良区田隈2-23-6	092-864-7600	092-864-7638
(株)コムカット	〒811-1314	福岡県福岡市南区の場2-21-1	092-571-1971	092-585-5647
(株)センター機材	〒812-0894	福岡県福岡市博多区諸岡5-1-8	092-591-2828	092-591-3078
ダイヤモンド機工(株)	〒814-0143	福岡県福岡市城南区南片江2-30-21	092-801-0011	092-863-5707
(株)旭工業	〒885-0004	宮崎県都城市都北町1715-2	0986-36-6650	0986-36-6651
(株)西部システム	〒899-4346	鹿児島県霧島市国分府中町26-33	0995-46-9015	0995-46-9016

メーカ会員 13 社 (50 音順)

旭ダイヤモンド工業(株)	〒102-0094	東京都千代田区紀尾井町4-1	03-3222-9299	03-3222-6530
エービーイーダイヤモンド(株)	〒358-0014	埼玉県入間市宮寺2595-7	0429-34-3110	0429-34-3169
(株)クライム	〒146-0081	東京都大田区仲池上1-29-3	03-3753-2014	03-3753-2229
サンゴバン(株)	〒298-0106	千葉県いすみ市須賀谷74	0470-86-3011	0470-86-3677
(株)シブヤ	〒738-0021	広島県廿日市市木材港北5-86	0829-34-4507	0829-34-4508
D A S (株)	〒140-0004	東京都品川区南品川2-2-15	03-5461-7501	03-5461-7525
仲山鉄工(株)	〒426-0055	静岡県藤枝市大西町3-14-1	054-635-1383	054-635-0418
日本ダイヤモンド(株)	〒224-0054	神奈川県横浜市都筑区佐江戸町686-1	045-939-3001	045-939-3003
日本ヒルティ(株)	〒224-0037	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20	045-943-6258	045-943-6234
(株)ノリタケマシンテクノ	〒202-0014	東京都西東京市富士町2-13-17	0424-61-5175	0424-61-6310
ハスクバーナ・ゼノア(株)	〒350-1165	埼玉県川越市南台1-9	0570-666-778	0120-365-295
ピースダイヤモンド工業(株)	〒224-0026	神奈川県横浜市都筑区南山田町4145-2	045-593-1271	045-592-2494
理研ダイヤモンド工業(株)	〒116-0002	東京都荒川区荒川1-53-2	03-3805-3471	03-3805-2434